

令和4年7月20日

岐阜県IoTコンソーシアム会員アンケートの集計結果について

岐阜県IoTコンソーシアムでは、地域企業のIoT導入の程度を測るため、年度毎に会員に対するアンケートを実施しています。この度、令和4年度のアンケートの結果を集計しましたので、概要を公開いたします。

アンケート結果の概要

- ・IoTの普及は進んでおり、今後も導入が進んでいく可能性が高い。
- ・IoTの技術そのものよりも、費用対効果や導入事例に関する情報の収集、IoT導入及び運用する人材の確保、育成に関する課題を感じている。

アンケートの方法及びその集計結果

対象者：岐阜県IoTコンソーシアム会員

実施方法：アンケート送付及びメール送信

回収期間：令和4年5月11日から6月28日

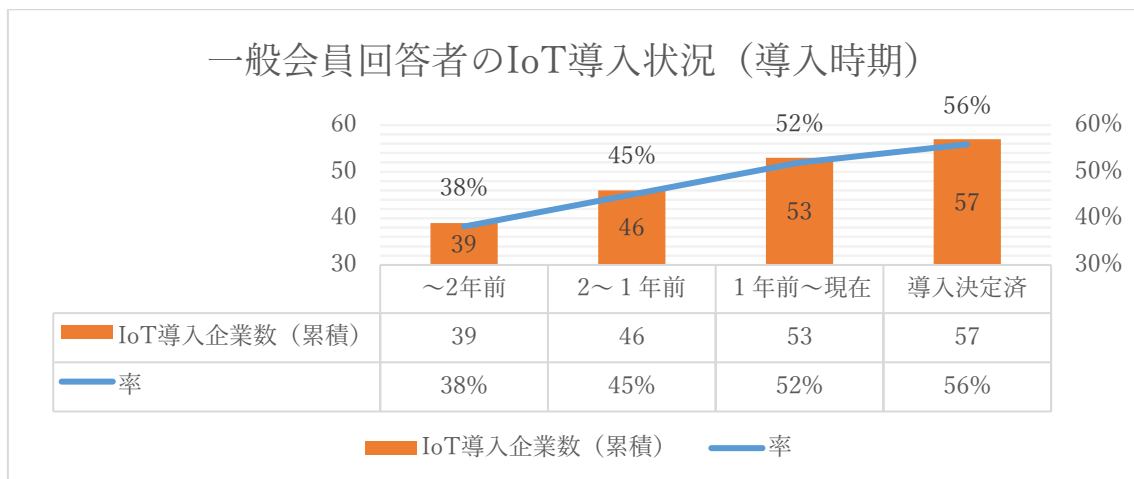
回答方法：WEBフォーム（有効回答件数110）又はFAX受信（回答件数28）

回答率：49.3%（有効回答数：138 / アンケート送付数：280）

回答者の属性：一般会員102、団体会員22、行政会員5、学会会員9

一般会員の業種、製造業52、情報通信業20、その他30

1) IoTの普及状況に関する設問について、一般会員アンケート回答者（102者）の回答を集計すると、導入済みが52%（53者）、今後導入することを決定しているのは4%（4者）、検討中が17%（17者）と回答しており、IoTの導入は継続して進んでいることが想定できる。
（※グラフは複数の設問の回答から集計して作成したもの）



2) IoT 導入を進めるうえで重要ものに関する問いには、推進する人材の育成(77%)、データ分析力(57%)、データ収集力(45%)、プラットフォームの構築(44%)との回答が上位を占めている。

今後、自社へのIoT導入を進める上での重要なものは何か(3つ選択) 回答者数(N=127)	回答数	回答数/N
①データ収集に関する技術力	57	45%
②データ分析に関する技術力	73	57%
③IoT化のためのプラットフォームの構築	56	44%
④新しいビジネス創出のための異業種連携	33	26%
⑤IoTを推進する人材の育成	98	77%
⑥経営者・トップのリーダーシップ	40	31%
⑦企業のビジョン	24	19%
計	381	300%

3) IoT 導入の課題に関する問いには、上位から、費用対効果が測れない(49%)、IoT人材の不在(44%)、社員向けの教育・リテラシーの確保(29%)、経営者及び現場の理解不足(26%)の回答。

IoT導入による目的を達成するうえでの課題は何か(複数回答可) 回答者数(N=121)	回答数	回答数/N
① 自社のカイゼン等に必要データが何かわからない(収集単位、精度、粒度)	18	15%
② データは取得できているが、カイゼン等に活かす手法がわからない	10	8%
③ 取得したデータの分析要件や分析方法がわからない	21	17%
④ IoTを活用したカイゼン等の進め方(PDCA)がわからない	18	15%
⑤ IoTを導入・運用・維持管理できる人材がいない、	53	44%
⑥ IoTの導入による費用対効果が明確に測れない、	59	49%
⑦ 社員向けの教育・リテラシーの確保が難しい	35	29%
⑧ 経営層又は現場の理解	31	26%
その他	5	4%
計	250	207%

お問い合わせ先：(公財)ソフトピアジャパン 岐阜県IoTコンソーシアム運営事務局
TEL：0584-771188 email: gifuiot@softopia.or.jp